

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立青少年学習センター運営協議会				
事務局 (担当課)		青少年学習センター 電話042-751-0091(直通)				
開催日時		平成28年12月8日(木) 午後7時~午後8時15分				
開催場所		青少年学習センター 3階 小会議室 2				
出席者	委員	5人(別紙のとおり)				
	その他	小中学校長会の委員代理 1人				
	事務局	3人(青少年学習センター所長、他2人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	無
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		(1) あいさつ  (2) 議題  ・ 会長及び副会長の選出について  ・ 平成28年度事業実施状況等について  ・ 平成29年度休所日について  ・ その他				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言)

### 開 会

#### 1 あいさつ ( 青少年学習センター所長 )

『平成28年度第2回運営協議会』の開催にあたり、任期更新後初めての協議会となる、青少年を取り巻く環境については子どもと貧困の問題等市の抱える課題は多い、青少年学習センターとしては今後も限られた予算の中で事業を推進する所存である旨あいさつ。その後出席委員へ委嘱状を交付した。

#### 2 議 題

##### ( 1 ) 会長及び副会長の選出について

「相模原市青少年学習センター運営協議会要綱」第5条に基づき、会長及び副会長を委員互選で選出することとなる旨説明、その後立候補者及び推薦もなかったため、学識経験者である木下委員を会長に、青少年指導員連絡協議会の本郷委員を副会長とする案を提示、他の出席委員全員の賛成を得て選任された。

##### 就任のあいさつ ( 木下会長・本郷副会長 )

自己紹介の後、本日の運営協議会の議題についてよろしく審議をお願いしたい旨あいさつ。

##### 各委員と職員が自席で自己紹介

##### ( 2 ) 平成28年度事業実施状況等について

配布資料のほか事業実施時の写真をプロジェクターで投影して説明、屋外で行った事業は概ね天候にも恵まれ、順調に実施できている旨報告した。

あそびの学校で8月に行った「きもだめし」について、参加対象者と運営主体の構成、会場や衣装等の準備についてお聞きしたい。また夜間に行っているようだが、保護者への対応はどうしているのか。

本事業については、参加対象者は小学生に限定した。運営主体はボランティア団体「あそびの達人」であり、主に中学生から大学生で構成されている。また今回は別途募集したボランティアやインターシップ希望者にも運営に加わってもらった。会場は青少年学習センター全館を使い、企画はもとより趣向をこらした各部屋装飾も、衣装その他もボランティアによる自作である。保護者については、夜間の実施事業であることから送迎をお願いし、終了時までロビーで待機していただいた。また、過去に本事業に参加した小学生が、その楽しい経験から中高生のボランティアとして運営側に加わったことがあると聞いている。

現在青少年学習センター 1 階の廊下に展示してある子ども会新聞について、展示位置をロビーに移すなど、わかりやすく目立つように考えた方がよいのではないか。

現在、ロビーでは9月に実施したyフェスティバルで子どもたちが作った作品を展示している。ロビーに別途パネルを使って展示することも考えたが、安全性の面から見合わせた。新聞コンクールについては、1月から緑区のシティプラザはしもと及び南区の合同庁舎に展示予定であり、それらをメインの展示として考えている。

施設利用者による利用者懇談会では、今年度の総会開催時に「音楽フェスタ」を開催した。来年度は団体の活動内容をプレゼンする事業を計画中である。

青少年学習センターの行う事業の多さに、改めて気づかされた。

館内の装飾等、以前より子どもが楽しめるセンターになってきていると感じる。

事業実施の状況について、当日の写真を見ながらの説明はわかりやすく、臨場感があってとても良かった。

### ( 3 ) 平成 2 9 年度休所日について

清掃・保守点検及び施設修繕を行うため、例年どおり毎月 1 回の休所日を設けるもの。なお休所日の曜日については、利用者への影響を加味し、偏りがないように配慮した。

休所日については、全出席委員が了承。

### ( 4 ) その他

昨今議論されている公民館有料化については、利用者の公平性、サービスの受益者負担、事業実施と利用者の活動との共生など、考えるべき点が多く難しい問題である。青少年学習センターではどうか。

公民館は、地域づくりの拠点であり、その活動内容を地域に還元するということで施設使用料を要しないこととなった経過がある。現在、青少年学習センターの施設使用料については、本来の施設利用対象である青少年団体は減免としている一方、一般団体は有料としている。今後公民館が有料化に進むことになれば、青少年学習センターの施設使用料についても見直しが必要になるのではないかと考えている。また施設利用の条件について、現在は 1 0 人以上の団体であることが条件のひとつになっているが、今後は利用方法の多様性も加味し、こうした利用条件面での検討も進めたいと考えている。

経費と有料化のバランスもあるのではないか。他市でも市民が利用できる施設について、例えば高齢者に様々な施策・事業への参加が促される一方、高齢者は近くの会場でなければ行くことができない等の課題もあるようだ。

冒頭のあいさつにもあったとおり、青少年学習センターとしては限られた予算の中で事業実施、施設の維持管理を行わなければならない、今後見直し等を進めていかざるを得ない。ご理解・ご協力をいただきたい。

他に委員から意見等はなく、本郷副会長から閉会のあいさつがあり終了した。

## 青少年学習センター運営協議会委員出欠席名簿

No	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	木下 國博	私立相模栄光幼稚園	会 長	出席
2	渡 邊 仁	市立小中学校長会		欠席
3	本 郷 永子	市青少年指導員連絡協議会	副会長	出席
4	宮 地 よし子	青少年関係団体連絡会 (市青少年健全育成組織連絡協議会)		欠席
5	池 上 誠 治	青少年関係団体連絡会 (市鼓笛バンド連盟)		出席
6	清 水 多恵子	青少年関係団体連絡会 (市少年少女合唱団育成会)		欠席
7	金 子 剛	天馬太鼓(利用団体)		出席
8	佐 伯 明 美	B A N B A N ' Z (利用団体)		出席
9	新 倉 栄	公募委員		欠席
10	山名田 愛衣	公募委員		欠席

このほか、小中学校長会の代理出席者 1名